

## 令和5年度公益社団法人びわ湖高島観光協会事業計画書

## I. 事業概要

新型コロナウイルス感染症は数年にわたり観光産業に大きな影響を与えてきたが、ここに来て変化が見られる。令和4年度終盤から水際対策が大きく改められ、海外からの個人旅行者を中心にインバウンドが再始動している。さらに令和5年5月には新型コロナウイルス感染症の位置づけが季節性インフルエンザと同じ第5類感染症へと変更される見通しで、観光業界においても、本格的にアフターコロナの動きが始まると思われる。

今後の高島市の観光には、観光誘致の手法やターゲットについてこのタイミングで客観的に合理的な選択が重要であり、その判断の根拠となるデータが求められている。令和3年度より取り組んでいる協会独自の観光入込調査を活用するとともに、今後も広域動態調査などマーケティングの視点に立った調査、分析を進め、協会事業や市内事業者にフィードバックを進めていく。

インバウンドについては、実績や親和性を勘案し、引き続き台湾および香港をターゲットとして誘客を図る。

アウトドアについては、全国的にキャンプブームが続いていることが日本オートキャンプ場協会からも報告されている。コロナ禍が「アウトドアはリスクが低い」という意識を後押ししたとも考えられており、高島市市内のキャンプ場の利用もコロナ禍の中でも右肩上がりが増加している。一方で海外旅行、一般国内旅行が今後回復していく中でキャンプブーム、アウトドアブームに陰りを指摘する識者もいるが、当協会は現在のキャンプやアウトドアへの高い関心を活かして現在展開中のBlueGreenの取り組みを継続することで、高島市＝アウトドアのイメージを定着させ、万一の市場の縮小にも負けない魅力あるフィールドであることをPRしていく。

県はシガリズム観光振興ビジョンを策定して、令和4年度より独自のニューツーリズムを推進しており、これは高島市の資源や特性を生かした観光を推進する大きなチャンスと捉えられる。その中でも自転車を活用したシガリズムペダルの取り組みは、2次交通での市内周遊促進の上で重要であり、この事業に重点的に連携、協力を実施する。

また、高島市の観光振興において、IT化・デジタル化・DX化は先進的に進んでいるとは言えない状況にあることから、まずは協会や市内事業者がDXの最新情報を共有する中で今後の活用検討の機会を提供していく。

物産振興の取組としては、物産の販売にとどまらず、観光振興事業と物産振興事業の連携による相乗効果を生み出し、新たな観光消費に繋げる。また、地域のPRに貢献する物産関連商品の開発を促し、ネット通販の強化も進める。

近年、観光を取り巻く環境が大きく変化する中、高島市においてはこれからの観光振興の総合的な指針となる観光ビジョンが策定されようとしている。当協会としても策定に引き続き協力していく中で、市内観光事業者の思いが反映されるよう取り組む。

## II. 観光振興重点事業

### 1. 観光誘客促進のための調査事業（マーケティングリサーチ）

令和3年より誘致推進部会を中心に実施している観光入込客数の調査業務を継続するとともに、集積データの評価を行い誘客に繋げる。

- 1) 観光入込客数の調査および報告
- 2) 誘致推進部会での検証・評価

### 2. 広域的な動態調査事業（市委託）

令和6年（2024年）3月の北陸新幹線延伸を見据え、広域連携のより具体的な機運醸成を図るため、福井県嶺南地域までを範囲とした地図を導入した「観光アプリ」に、モデルコースを掲載、WebページやタイムリーなSNS情報ページとの連動機能を追加し、着地型ツールとしての利便性の向上を図る。令和4年度に引き続き広域的な観光客動態調査を継続的に行うべく、広域観光スタンプラリーも実施する。

また、高島市がインバウンドの重点市場と位置ける台湾からの個人客回復に備え、観光アプリの中国繁体字版を整備する。

- 1) 観光アプリ運用 通年度
- 2) 動態調査実施 通年度
- 3) 広域スタンプラリー実施 令和5年10月～

### 3. アウトドア誘客促進事業

アウトドアの人气が一層高まり、市内のキャンプ場などは入込客数が増加している。キャンプ場等利用者の市内周遊観光促進のための戦略策定を行う。

#### 1) マーケティング調査

アウトドアを目的とした観光客の動向・ニーズを調査し、客観的根拠に基づくデータ集積・評価を行った上で、ターゲティング等、今後のアウトドアプロモーションの方向性を検討する。

#### 2) 集客イベント開催

たかしまアウトドア推進協議会（事務局を受託）が主催するSUP 駅伝等の既存イベントに工夫を施し、更なる集客を図り、高島のアウトドアPRを目的としたイベントとして開催する。

#### 3) プロモーション事業

キャンプの多様化とツールの進化に伴い、春・夏・秋だけでなく、冬季キャンプの需要が年々増え、市内においても冬季営業を開始する施設が増えている。高島市の観光閑散期対策としても効果を期待できる「冬キャンプ」をメインとした、冬季プロモーションを実施する。

#### 4. サイクルツーリズム推進事業

びわこビジターズビューロー・JR西日本が令和4年度から実施しているシガリズムペダル事業(※)のプロモーション効果を継続、定着させることを目的に、チケット付きサイクルプランやオプション付きサイクルプラン等を造成。レンタサイクル稼働率向上と周遊促進を図る。また、令和4年度から導入したインターネット販売を継続し、認知度向上・販路拡大を目指す。

- 1) サイクリングプラン造成
- 2) インスタグラムキャンペーン
- 3) イベント開催事業

※この事業は滋賀県内の駅から観光地または観光地間の二次アクセス強化と、自転車を利用したライトな「観光ビワイチ」のコンテンツ磨き上げを目的とした県域観光プロモーション事業。令和5年度春季は、高島市をメインとした宣伝事業が大々的に実施される。

#### 5. DX推進事業（市委託）

IT化・デジタル化・DXによる観光推進を考えるきっかけとなるよう、誰でも手軽に始められるGoogleビジネスプロフィール（旧称Googleマイビジネス）やSNS活用推進をテーマにした外部講師による研修を部会員はじめ市内事業者を対象に実施する。

#### 6. シガリズム関連事業（仮称）（BVB補助）

シガリズム観光振興ビジョンの基本方針に則り、県及びびわこビジターズビューローの実施事業と連携して高島市のシガリズム事業を展開する。なお、実施の際は前年度に続き、SDGsや滋賀県独自のMLGsの視点も意識したプロモーションを行う。

※BVB補助事業が未定のため、例年通り、4月以降で検討し、補正対象の事業とする。

### Ⅲ. 観光振興継続事業

#### 1. 情報発信事業

観光業界においても、デジタルツールの普及が急速に進む中、一方では紙媒体への需要も一定存在する。「誰が」（ターゲット）「どこで」（旅マエ、旅ナカ）活用するためのツールなのか、また使用するシーンに応じて各々精査を行う。

これまで年2回発行していた滞在型観光誘致パンフレットは、今年度は個人向けの「旅ナカ」活用を重視して季節毎の4回発行に改編する。また、基礎ツールである総合マップは、一般向け配布以外にも営業資料としても必須であり、商談シーンで使い勝手がいいように、サイズダウンを施しリニューアルする。

##### 1) パンフレット等の作成

###### ①滞在型観光誘致パンフレットの作成（市委託）

紙面掲載スペースを縮小する為、観光アプリや公式Webページ等の、旬の情報への

誘導を意識した紙面構成とする。

- ・夏号 6月発行 10,000部
- ・秋号 9月発行 10,000部
- ・冬号 11月発行 10,000部
- ・春号 2月発行 10,000部
- ・サイズ／各号とも、A3サイズ両面カラー・A4仕上がり

## ②総合マップの作成（市委託）

サイズ縮小の為、見やすさを重視し掲載情報を絞り込み、リニューアルする。

- ・名称／びわ湖高島観光Navi
- ・発行部数／15,000部
- ・サイズ／A2サイズ両面カラー・A4仕上がり

## ③多言語パンフレットの増刷（市委託）

過年度に作成した高島市の基礎ツール英語版・中国繁体字版を改訂・増刷

- ・名称／Welcome to BIWAKO TAKASHIMA
- ・発行部数／各2,000部
- ・サイズ／A2サイズ両面カラー・A4仕上がり

## 2) Web情報発信業務

### ①公式ホームページ

アクセス実績に基づくWebマーケティングの定着化  
更新頻度の高い日常業務に加え、戦略的な誘客コンテンツの発信  
サイクルツーリズム促進に伴うWebページ改修

- ②SNSによる情報発信強化
- ③各種情報サイトへの観光情報提供

## 3) 広告宣伝

### ①SNS広告（市委託）

効果検証が可能なSNS広告を活用する（日本語・英語・中国繁体字）

- ②滋賀県観光情報（びわこビジターズビューロー）Webサイト広告
- ③Web、雑誌、新聞等を活用した広告

## 4) 各種DM発送業務

- ①京阪神、中京の主要道の駅、県内外の観光施設や旅行会社等へのDM発送
- ②びわこビジターズビューローのDM発送活用

## 2. インバウンド誘客強化事業（市委託）

コロナ以前と同様に、高島市がインバウンド重点市場と位置付ける台湾・香港への継続的な誘客事業を実施する。

- 1) 台湾・香港向けWeb広告（商品造成およびインターネット販売の検証含む）
- 2) 台湾・香港向けSNSリターゲティング広告
- 3) 台湾インフルエンサーの招聘

またこれに加えて北陸新幹線経由での入込を考慮して、韓国についても情報の収集を行う。

### 3. 誘致営業活動

びわこビズターズビューロー主催による商談会等に積極的に参加し、また必要に応じて協会単独の誘致営業活動を実施する。なお、前年度に、SDGsや滋賀県独自のMLGsの視点を入れて一新した提案資料を効果的に活用する。

- 1) 旅行会社、メディアを対象とした主要都市圏への誘致営業活動。
- 2) 旅行会社は、国内旅行・教育旅行・インバウンド（国内の訪日旅行取扱旅行会社など）を中心とし、エリアは、首都圏・関西圏・中京圏を中心とする。

### 4. 広域連携事業

令和6年（2024年）3月の北陸新幹線敦賀延伸に伴い首都圏からの観光客の動きが変化することが見込まれる。首都圏に向けて多くの情報発信を行っている若狭湾観光連盟との協働や北びわ湖広域観光協議会事業を中心に、より広域連携事業を強化する。

なお、まいばら駅広域観光交流圏コンソーシアム（米原・彦根・長浜・高島）や鯖街道まちづくり連携協議会（若狭・小浜・高島）など他団体や他協議会の類似事業も注視しながら、目的やターゲットを明確にして、より効果的な連携事業を展開する。

- 1) 若狭湾観光連盟との連携（市補助）  
嶺南地域各協会が参加するワーキンググループで、より具体的な取り組みを検討。  
北陸新幹線敦賀駅開業記念イベントへの共同出展
- 2) 北びわ湖広域観光協議会（長浜観光協会との連携）  
北びわ湖エリアへのインバウンド誘客促進を目的に造成したモデルコースの磨き上げ、双方の地域通訳案内士の連携強化やランドオペレーターへの販促強化を目的に事業を展開する。
- 3) 敦賀市との連携：新幹線新駅の立地する敦賀市および敦賀市観光協会との連携を進める。

### 5. 旅行業務・手配業務

- 1) 着地型旅行の主催（受付、手配、実施）  
協会主催ツアー、他機関企画のモニターツアー等
- 2) 教育旅行、団体旅行の手配  
旅行会社や学校等からの依頼による団体旅行の手配業務
- 3) 各種大会運営に関する受付、手配

### 6. 受入体制整備事業

- 1) レンタサイクル事業  
駅案内所等を利用して、e-bikeをはじめレンタサイクルを活用した観光を促進する。

## IV. 観光物産振興事業

### 1. 観光物産活性化事業

観光協会の物産振興の取組として、観光振興事業との連携により新たな観光消費に繋げる。また、地域のPRに貢献する物産関連商品の開発を促す。

- 1) 観光客向け新商品の開発
- 2) ギフトセット、コラボ商品等の開発
- 3) 市内消費額向上に資する、観光キャンペーン等と連動した商品企画
- 4) フルタ製菓商品の取扱
- 5) 視察および教育活動等の見学の受入

### 2. 情報発信事業

- 1) SNS等を活用した情報発信
  - ① Instagram、facebookの活用
  - ② LINE 広告・友達登録等の検討
- 2) 自主発行の媒体による情報発信
  - ① 協会発行の紙媒体の活用
  - ② 公式ホームページおよびブログ等の活用
- 3) マスメディア等を活用した情報発信
  - ① プレスリリース
  - ② 新聞折込チラシ
- 4) 一般消費者、旅行会社向けDMによる情報発信
  - ① まるごと百貨店フェア等のイベントおよび、新商品等の情報発信

### 3. 通信販売事業

- 1) びわ湖高島えんむすび事業（高島市のふるさと納税事業）
- 2) 高島屋オンライン
- 3) たかしま・まるごと百貨店公式HP
  - ① セキュリティの改善およびオンライン決済導入目的のサイトリニューアルの準備
  - ② 取扱商品の更新・拡充
- 4) 楽天市場EC事業（自主事業）

### 4. たかしま・まるごと百貨店の運営

- 1) 店舗運営
  - ① 販売・接客業務
  - ② 企画販売の展開
  - ③ 店舗の経理事務
- 2) 取扱商品の拡充
- 3) イベント開催
  - ① スプリングフェア
  - ② サマーフェア

- ③ 新旭文化祭連動イベント
- 4) 観光案内
  - まると百貨店店頭での案内と媒体掲出
- 5) その他
  - ① 出品者情報の更新
  - ② 10周年イベント（令和6年度予定）等の検討
  - ③ バスツアー立寄り等の誘致営業

## 5. 外部出店事業

- 1) 市外・県外への出店（市委託）
  - ① 近鉄草津店・洛西高島屋などの百貨店等にて開催される催事への出店
  - ② 観光イベント等への出店
  - ③ 近鉄百貨店草津店高島市コーナーへの出品
- 2) 市内イベント出店
  - ① 市内で開催される観光イベントへの出店

## V. 施設等の管理・運営

### 1. 琵琶湖周航の歌資料館案内業務（市委託）

琵琶湖周航の歌資料館において、高島市から委託を受け展示案内解説員を配置して琵琶湖周航の歌が誕生した経緯や琵琶湖周航の歌に関係する展示と説明を行う

- 1) 資料の保管と整理
  - 収蔵資料を適正に保管し、整理と分かりやすい展示を行う。
- 2) 展示の充実
  - 年1回、企画展などを計画し、魅力ある展示に努める。
- 3) 情報発信
  - 資料の解説シートなどパンフレットを作成・配布する。
- 4) 案内業務
  - 団体、個人等来館者に琵琶湖周航の歌の解説を行う。
- 5) 企画イベントの実施
  - 関係団体等と調整し琵琶湖周航の歌の魅力を発信する事業を検討する。

### 2. JR 駅観光案内所運営（市委託）

- 1) 近江高島駅、安曇川駅、近江今津駅の各駅構内観光案内窓口の運営
  - ① 最新の観光関連情報をもとに駅利用の観光客に適切な案内を実施する
  - ② 外国人観光客への受入体制を強化する
- 2) レンタサイクル窓口
- 3) バス回数券等の販売

### 3. 六ツ矢崎浜園地管理業務（市委託）

六ツ矢崎浜オートキャンプ場として管理運営を行う

- 1) 利用者からは維持管理協力金として料金を徴収する
- 2) アウトドアメーカーや各種媒体による撮影利用や、イベントへの協力を行う
- 3) 園内常設トイレの改修等、園地環境の整備と利用者の利便性向上および、運営の効率化を図る
- 4) 市内アウトドア情報の発信拠点として取り組む

## VI. 組織強化事業

### 1. 部会活動

会員で構成する部会についてはそれぞれに協会事業の実施に資する活動を行うとともに、両部会参加事業者の連携と交流を図る取り組みを実施する。

また、引き続き市商工観光部担当者の会議への出席により、協会と行政間の情報共有を行い連携強化を進める。

- 1) 誘致推進部会
  - ①現状の部会員の参画形態に基づく部会体制の見直し
  - ②入込調査（マーケティングリサーチ）および調査結果の評価を行う
  - ③国内、教育、インバウンド等各種誘致事業の検討
  - ④視察研修会等の検討
- 2) 物産振興部会
  - ①まるごと百貨店およびE Cサイトの運営検討
  - ②店舗イベント開催などについての検討
  - ③市委託事業を活用しながら市外、県外への物産のPRと販売

### 2. 研修・育成活動

- 1) 他機関開催の研修会、セミナー等への参加
- 2) 会員間情報の共有強化
- 3) 職員に対する人事評価、育成面談、情報共有会議等の実施